

リンク・ジェノミクス 株式会社

入居者概要

所在地 本社：東京都中央区日本橋堀留町2-1-8 神野ビル4F

資本金 3千万円

社員数 17名

事業内容 がん及び組織の線維化に起因する各種疾患に関する新規治療薬・診断薬の研究開発

千葉大亥鼻イノベーションプラザにおける事業概要

千葉大学大学院医学研究院泌尿器科学（市川 智彦教授）との前立腺がん研究を中心に、千葉大学施設との共同研究実施および共同研究成果の実用化を目指した研究開発、ならびに弊社独自のゲノム解析を軸とした基盤技術を用い、がんの新規治療薬・診断薬の研究開発を行います。

高機能な医薬品の研究開発にあたり、私たちはがんの患者さんのゲノムでどのような変化が起こっているのかを知ることが重要だと考えており、このため、当分野に必要なサンプル、高度な学術的情報、先端技術、疾患情報などが集積し、設備インフラが充実している千葉大学亥鼻地区内で共同研究を実施できる点は大きなメリットです。

コア技術と事業展開

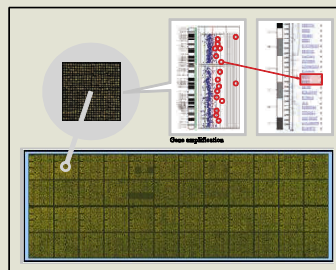
コア技術の例

Whole Genome DNA Array技術

～ゲノムにおける異常の高精度網羅的解析技術～

がんの形成や悪性化に伴い、ゲノム上のある領域が異常に増幅したり欠失したりするジェネティックな変化が見られます。

Whole Genome DNA Array技術は、こうしたゲノム上のコピー数異常を全遺伝子領域にわたり網羅的に高精度に解析する技術です。

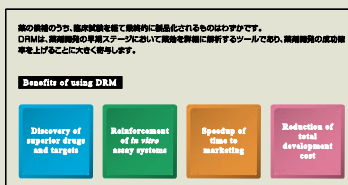


Dynamic Response Mode Analysis技術

～遺伝子機能詳細解析技術～

がん患者さんに共通して見られる異常遺伝子が創薬標的として有効かどうかの評価は大変重要なステップです。

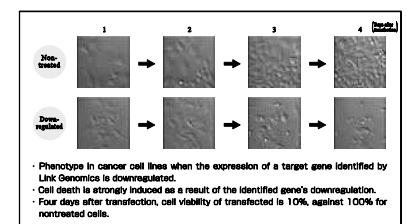
Dynamic Response Mode Analysis技術は、標的遺伝子の機能を阻害した場合に起こるがん細胞の動的な応答を詳細かつ定量的に評価する技術です。



事業展開

治療薬事業 がんの特異的な分子を選択的に阻害する、高機能で副作用の少ない新規分子標的薬の研究開発を進めています。

- ゲノム医薬部門
- 抗体医薬部門
- EMT医薬部門



診断薬事業 がんを早期発見可能なマーカーや、個々の患者さんの特徴を判定可能な診断マーカーの研究開発を進めています。

- 早期診断マーカー部門
- 感受性マーカー部門

